	l					
帯直解水 未開水 解水項の質 2 (全3頁)	3000	未配外	外球政策			
			7389-2H	109	35/00	G 03 G
9 公期 平成4年(1982)7月28日	有	9 23	行内数照备号 7018—3F	推別記号 8	19/12	®Int. CI. 1 B 65 H 19/12
平4-86651	Ħ	5	@ 公開東用新菜公報 (U)	の公照		

日本来の名称 ロール抵給送校園

平2(1990)5月15日 平2-49836

泧 H 埼玉県八捌市大字島ケ曽位713番地 リコーユニチクノ株 内会社内 埼玉県八湖市大学銀ケ曽根713番地 リコーユニテケノ株

埼玉県八湖市大学組ケ倍度713番地 **共会社内**

リコーユニテクノ株式

第典 弁団士 ച

4

× ĠĢ

の資用が概念の指数の類面

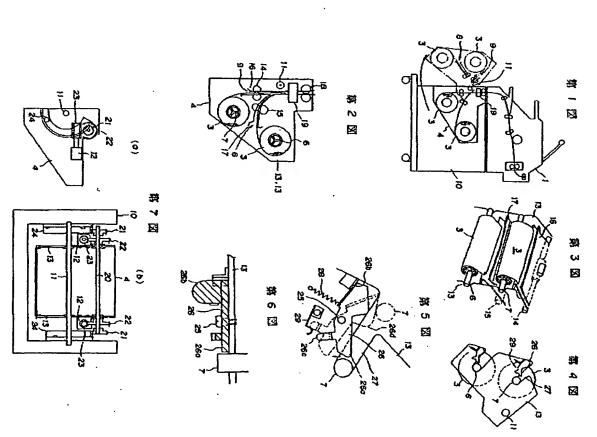
(1) 複数のロール紙を保持し、且ンロール紙を持 西に位属して笛体が停止するよう樹成してなる 時にな、約25ロール病が約回館出された鉄下装 **樹に対して鉛紙可能状態に収納され、上昇回数** 数列的強い、から、ロース低よりの結集日本的 自在に触支し、後体を放支点掘りに回動して億 ローク無格送数期。 体の下降時には甘寧体が支持フレーム内に被す 他人になる資本1を文化ファームに対して回復 **導機に対して搬送する搬送コロ及びガイド板を**

② 契約ホータが留体に固定され、ウォームとウ 四国の原母な既明 してなる精束項(1記載のロール抵給)密装置。 された外間車とにより酸体が回動するよう構成 オームホイール、ギヤ及び支持フレームに固皮

えた反応極の関係構成を示す側断面図、第2回は 第一図は、本名族によるロール抵給送波爾を協

> た平面図、第1図はロール新保持部回動機後を示 大圏、第6圏はロール紙始保持部分を上方より見 は第4回におけるロール抵軸の保持構成を示す批 図はロール抵船の保存領温を示す側面図、毎5図 †悶、aは側面図りは正面所面図、である。 線で示す回動位置にある給送装置の斜板図、第4 総造技歴の分の側所は図、第3図は第1図に仮想

·・・ウオームボイーパ、23·・・・・ウオーム、24·・・ …カツター、20……株、21……ギャ、22… ……投送コロ、18, 17……ガイド板、19… 八 27……等、28……スプラング、29…… …固定外値車、25……熨キジ、26……ストツ 子、6, 7……ロール批響、8, 9……拾無口、 2……モーグ、13……信贷、14, 15, 18 10……交換フレーム、11……留体の支稿、1 1……按導機本体、3……ロール紙、4……館

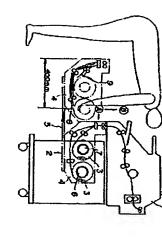


80 ⊠



図面の簡単な説明を次のように樹正する。 明細治第9頁第9行目「である。」とある前に

柏正 平4 2,20



下記の文を挿入する。「第8図は従来使用されているロール抵給送装置を借えた被写板の領路構成を示すの前面図。」

BEST AVAILABLE COPY